

共につくる。まるごと元気!多治見

Tajimist

Instagram



2022
No.2353
令和4年6/1発行
広報たじみ

6

～甘原・三の倉・諏訪エリア～

三郷地区の魅力



林業で移住

地域を支える新しい力

株式会社山田林業は令和3年度と令和4年度に合計6名の新卒の皆さんが入社しました。山田林業は、林業以外にも地域の活性化に貢献するため「カフェモンタナ」の運営や、森の天然酵母パン「フォーレ」を共同出資で運営するなど地域振興事業も展開しています。若い力が地域活性化の一翼を担っています。



左から、令和4年度入社：市川咲希さん(長野県長野市出身)、細川和音さん(香川県仲多度郡出身)、下條快斗さん(岐阜県土岐市出身) 令和3年度入社：矢野宏樹さん(滋賀県彦根市出身)、山口穂奈美さん(愛知県豊田市出身)、黒田柚生さん(京都府京都市出身)

自然を生かし 活気のある地域に



株式会社山田林業 代表取締役 山田 輝幸さん

資源である山を守っていくため、林業の若い担い手を育てる取り組みをしています。技術を得るには時間がかかりますが、若い世代の社員がいると活気があり、会社の雰囲気も変わりました。自然豊かなこの地域に都会や若い人たちが来て魅力を発見してもらえよう、これからも様々なことに取り組んでいきます。



現場で初の女性社員である山口さん



「フォーレさくら祭り」で司会をする黒田さん

多治見を世界一のもみじの町に



株式会社もみじかえで研究所 代表取締役 本間 篤史さん

4月25日(月)農林水産省から「多治見のもみじ」を活用した農山漁村発イノベーション推進事業」に対して認定証が交付されました。



もみじの持つ「形」、「色」、「風味」、「機能性」の4つの特徴を生かして商品の研究・開発をしています。まずは、もみじが食べられることを知ってもらいたいです。

もみじの生育に適しているこの自然豊かな地域を、もみじを見て楽しんだり、人が集える場所を作って活性化したいです。地域を盛り上げる素材の1つがもみじだと思います。



1



4



2



3

- ①甘原町のもみじ畑
- ②新ブランドロゴ
- ③もみじを使った商品
- ④甘原町にあるハウスで、もみじの収穫をする本間さんの父、由秋さん